



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 10253366

(43) Date of publication of application: 25.09.1998

(51)Int.Cl.

G01C 21/00
G01S 5/14
G08G 1/0969

(21)Application number: 09055824

(71)Applicant:

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO
LTD

(22)Date of filing: 11.03.1997

(72)Inventor:

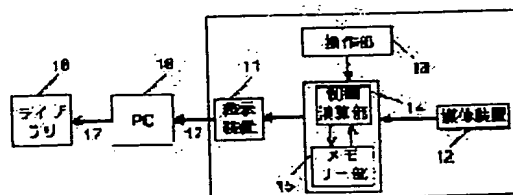
MATSUOKA TAKASHI

(54) PERSONAL COMPUTER COMMUNICATION SYSTEM USING CAR NAVIGATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a personal communication system using a car navigation which enables adding of user's personal information while common use of the personal information with other persons.

SOLUTION: A user uses a dedicated software on a personal computer 16 for the generation of his personal information to generate character information, animation, still pictures and the like to be displayed on a map. The information generated is loaded into a car navigator to be stored into a memory section 15. The information generated and stored can be registered as part of status information and map information using an operating part 13. Above-mentioned personal information is incrementally loaded onto a library 18 previously provided on a network through an interface part 17 for communication thereby enabling common use of the personal information with library readers.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-253366

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月25日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 1 C 21/00

G 0 1 C 21/00

A

G 0 1 S 5/14

G 0 1 S 5/14

G 0 8 G 1/0969

G 0 8 G 1/0969

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-55824

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月11日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 松岡 隆司

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

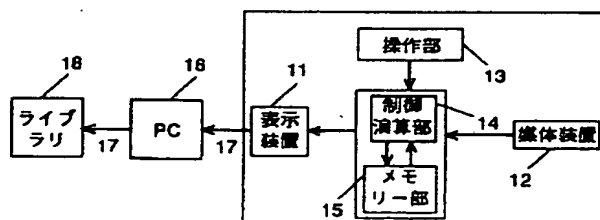
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 カーナビゲーションを使用したパソコン通信システム

(57) 【要約】

【課題】 従来のカーナビゲーションシステムでは、あらかじめ決められた情報を選択できるが、所有者個人の情報を付加することが容易でなく、また、その個人情報を他の個人と共有することができない。

【解決手段】 カーナビゲーションを使用したパソコン通信システムであって、所有者は個人情報を作成するため、パーソナルコンピュータ 16 上で専用ソフトウェアを使用し、地図上に表示する文字情報、動画、静止画等を作成する。作成された情報をカーナビゲーションにロードし、メモリー部 15 に記憶する。作成し、記憶された情報は操作部 13 を使用し、状態情報や地図情報の一部として登録することが可能となる。また、前記の個人情報を通信用インターフェイス部 17 を介してネットワーク上にあらかじめ設けてあるライブラリー 18 上へアップロードすることにより、個人情報をライブラリー閲覧者と共有が可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 書き換え可能なメモリ部を搭載したカーナビゲーションシステムと、パソコン通信の情報を伝達するインターフェイスと、情報をインストールするパソコン上で起動するソフトウェアと情報を公開するネットワーク上のライブラリから構成されることを特徴とするカーナビゲーションを使用したパソコン通信システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、GPSや航法装置等から得た情報をディスプレイ上に情報として提供することが可能なカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、車の運転をする際にカーナビゲーションを使用してリアルタイムに現在位置、進行方向、速度等の情報が容易に得られるようになってきた。

【0003】 それに伴い、上述した情報の他に、詳細地図情報や電話番号検索、最短経路案内、VICSやATISを使用した道路情報、さらに音楽CD、VIDEO-CDの再生、TV受信等々、多様化してきている。

【0004】 以下、図面を参照しながら従来のカーナビゲーションシステムについて説明を行う。

【0005】 図3は従来のカーナビゲーションシステムの構成図であり、図3において、構成要素として1はLCD、ブラウン管等の表示装置、2は各種情報を提供するための媒体装置、3はボタン等の操作部、4はCPU等の制御演算部、5はメモリー部である。

【0006】 以上の各構成要素よりなるカーナビゲーションシステムは、媒体装置2より得られた情報を操作部3でユーザーが選択を行い、制御演算部4でそれらの動作の制御を行い、表示装置1に表示するようにしている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来の構成だけでは、あらかじめ決められた情報を選択はできても、所有者個人の情報を付加することは容易でなく、また、その個人情報を他の個人と共有することはできないという課題があった。

【0008】 本発明は上記従来の課題に鑑み、所有者個人の情報を付加することができ、かつ、その個人情報を他の個人と共有することができるカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記従来の課題を解決するために、書き換え可能なメモリ部を搭載したカーナビゲーションシステムと、パソコン通信の情報を伝達するインターフェイスと、情報をインストールするパソコン上で起動するソフトウェアと情報を公開するネットワーク上のライブラリを備えたカーナビゲーション

を使用したパソコン通信システムとしたものである。

【0010】 本発明によれば、公衆の情報交換の場であるネットワーク網とカーナビゲーションとを接続することにより、決められた情報だけでなく、個人情報やローカル情報等をパソコン上で作成し、カーナビゲーションへ個人情報を付加することができる。

【0011】

【発明の実施の形態】 本発明の請求項1に記載の発明は、書き換え可能なメモリ部を搭載したカーナビゲーションシステムと、パソコン通信の情報を伝達するインターフェイスと、情報をインストールするパソコン上で起動するソフトウェアと情報を公開するネットワーク上のライブラリから構成されるカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムであり、決められた情報だけでなく、個人情報やローカル情報等をパソコン上で作成し、カーナビゲーションへ個人情報を付加するという作用を有する。

【0012】 以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

(実施の形態1) 図1は、本発明の実施の形態1のカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムの構成図である。

【0013】 図1において、構成要素として11はLCD、ブラウン管等の表示装置、12は各種情報を提供するための媒体装置、13はボタン等の操作部、14はCPU等の制御演算部、15はメモリー部、16はネットワーク網の端末でもあるパーソナルコンピュータおよび専用ソフトウェア、17は通信用インターフェイス部、18はネットワーク網上のライブラリである。

【0014】 以上の各構成要素よりなるカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムについて、以下、その動作を説明する。

【0015】 所有者は個人情報を作成するため、パーソナルコンピュータ16上で、地図上に表示することが可能な文字情報、動画、静止画等を作成し、それをカーナビゲーションが認識できる形式に変換する。

【0016】 作成された情報をカーナビゲーションにロードし、メモリー部15に記憶する。

【0017】 作成し、記憶された情報は操作部13を使用し、状態情報や地図情報の一部として登録することが可能になる。

【0018】 また、上述の個人情報を通信用インターフェイス部17を介してネットワーク上にあらかじめ設けられているライブラリ18上へアップロードすることにより、個人情報をライブラリ閲覧者と共有が可能となる。

【0019】 以上のように本実施の形態1のカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムによれば、個人情報の表示と共有化ができる。

【0020】 (実施の形態2) 図2は本発明の実施の形態2のカーナビゲーションを使用したパソコン通信シス

テムの構成図である。

【0021】図2において、構成要素として11はLCD、ブラウン管等の表示装置、12は各種情報を提供するための媒体装置、13はボタン等の操作部、14はCPU等の制御演算部、15はメモリー部、16はネットワーク網の端末でもあるパーソナルコンピュータおよび専用ソフトウェア、17は通信用インターフェイス部、18はネットワーク上のライブラリである。

【0022】以上の各構成要素よりなるカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムについて、以下、その動作を説明する。

【0023】表示装置11、媒体装置12、操作部13、制御演算部14、メモリー部15とで構成されたカーナビゲーション上で、操作部13により出発点と終着点を定めた最短ルートもしくは最適ルートを、地図上に表示されている道路を順次選択しながら作成する。

【0024】その情報データを通信用インターフェイス部17によって接続されたパーソナルコンピュータ16で順次選択された道路番号をテキスト形式で取り込み、ライブラリ18の上にアップロードする。

【0025】以上のように本実施の形態2によれば、個人ルートの情報の共用化ができる。つぎに表示例を図4を参照して説明する。

【0026】図4(a)は個人情報の地図上での表示の例であり、図中の21はこのカーナビゲーションシステムの既存する建物の種類を示す記号、22および24は、ユーザーが本実施の形態に基づき作成、あるいはライブラリ上のデータ、23はライブラリ上からダウンロードした抜け道ルート情報の表示、25は記号24の上にカーソルを移動し、確定することで得られる詳細文字情報であり、これは文字を音声、静止画、動画でもよい。

【0027】図4(b)は個人情報の住所録形式による

表示の例であり、ユーザーが本実施の形態に基づき作成、あるいはライブラリ上からダウンロードした情報を五十音順に並べかえて表示してあり、検索を容易にできる。さらに「詳細」を選択すると、項目に対する詳細な文字もしくは音声、静止画、動画等を表示することができる。

【0028】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明は従来のカーナビゲーションシステムとネットワーク上のライブラリとインターフェイスを介して情報のやり取りをする構成にしたので、個人情報の表示と共用化ができ、その使用上、便利なカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムとすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1のカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムの構成図

【図2】本発明の実施の形態2のカーナビゲーションを使用したパソコン通信システムの構成図

【図3】従来のカーナビゲーションシステムの構成図

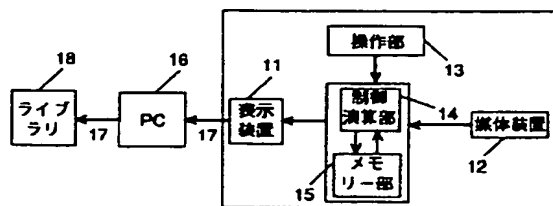
【図4】(a) 本発明における個人情報の地図上での表示例図

(b) 本発明における個人情報の住所録形式による表示例図

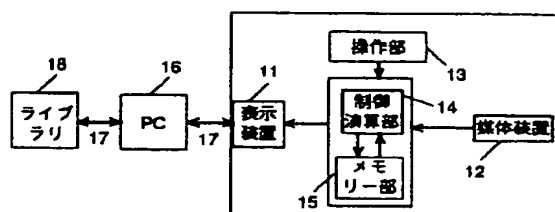
【符号の説明】

- 11 表示装置
- 12 媒体装置
- 13 操作部
- 14 制御演算部
- 15 メモリー部
- 16 パーソナルコンピュータ
- 17 通信用インターフェイス部
- 18 ネットワーク上のライブラリ

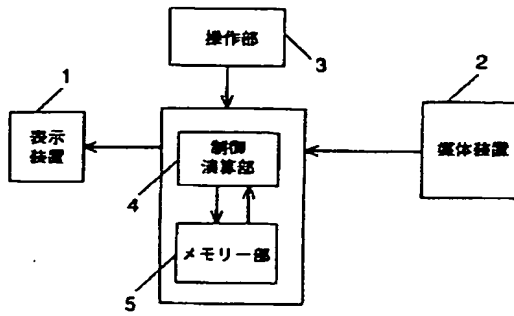
【図1】



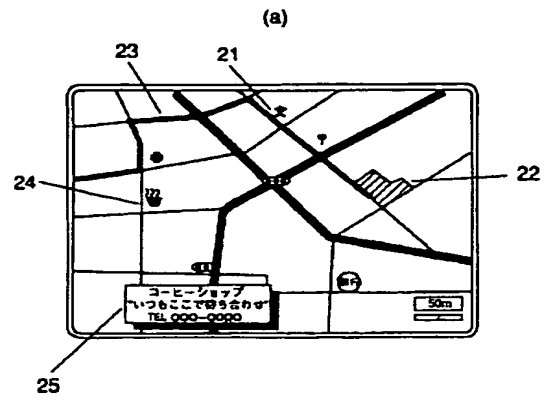
【図2】



【図3】



【図4】



(b)

Figure 4(b) is a display showing a list of addresses. The title is 住所録 (Address Book). The list contains three entries: 田中〇〇, 高木△×, and 〇×洋品店. Each entry has a corresponding address field. Below the list is a row of characters: あ か さ た な は ま や ら わ.

住所録	
田中〇〇	〇〇〇〇〇〇
高木△×	△△△△△△
〇×洋品店	××××××
あ か さ た な は ま や ら わ	

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
(12)【公報種別】公開特許公報(A)
(11)【公開番号】特開平10-253366
(43)【公開日】平成10年(1998)9月25日
(54)【発明の名称】カーナビゲーションを使用したパソコン通信システム
(51)【国際特許分類第6版】

G01C 21/00
G01S 5/14
G08G 1/0969

【FI】

G01C 21/00 A
G01S 5/14
G08G 1/0969

【審査請求】未請求**【請求項の数】1****【出願形態】OL****【全頁数】4**

(21)【出願番号】特願平9-55824

(22)【出願日】平成9年(1997)3月11日

(71)【出願人】

【識別番号】000005821**【氏名又は名称】松下電器産業株式会社****【住所又は居所】大阪府門真市大字門真1006番地**

(72)【発明者】

【氏名】松岡 隆司**【住所又は居所】大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内**

(74)【代理人】

【弁理士】**【氏名又は名称】滝本 智之(外1名)****(57)【要約】**

【課題】従来のカーナビゲーションシステムでは、あらかじめ決められた情報を選択できるが、所有者個人の情報を付加することが容易でなく、また、その個人情報をも他の個人と共有することができない。

【解決手段】カーナビゲーションを使用したパソコン通信システムであって、所有者は個人情報を作成するため、パーソナルコンピュータ16上で専用ソフトウェアを使用し、地図上に表示する文字情報、動画、静止画等を作成する。作成された情報をカーナビゲーションにロードし、メモリー部15に記憶する。作成し、記憶された情報は操作部13を使用し、状態情報や地図情報の一部として登録することが可能となる。また、前記の個人情報を通信用インターフェイス部17を介してネットワーク上にあらかじめ設けてあるライブラリー18上へアップロードすることにより、個人情報をライブラリー閲覧者と共有が可能となる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】書き換え可能なメモリー部を搭載したカーナビゲーションシステムと、パソコン通信の情報を伝達するインターフェイスと、情報をインストールするパソコン上で起動するソフトウェアと情報を公開するネットワーク上のライブラリーから構成されることを特徴とするカーナビゲーションを使用したパソコン通信システム。